

山口県感染症発生週報 (第38週:2019年9月16日～9月22日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核: 2例(岩国、宇部)

【4類感染症】

・重症熱性血小板減少症候群(SFTS): 1例(周南)

・日本脳炎: 1例(宇部)

・レジオネラ症: 1例(宇部)

【5類感染症】

・侵襲性肺炎球菌感染症: 1例(防府)

・百日咳: 第35週追加 2例(周南2例)、第36週追加 1例(防府)、第38週 4例(周南2例、防府1例、山口1例) 咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。予防接種の対象者で、まだ接種をしていないお子様は早めに接種を行ってください。



日本脳炎ウイルスを媒介する蚊

国立感染症研究所
感染症情報センター
ウイルス第一部 第2室

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ:一部の地域で報告が確認されています。迅速検査診断結果でA型陽性が30例、B型陽性が2例、臨床診断・型不明が1例ありました。
- ・RSウイルス感染症:県全体で発生数が多い状況です。下関、岩国、柳井、周南、防府、山口、宇部、長門、萩で発生が多い状況です。
- ・手足口病:萩で再度警報レベルになりました。県全体で警報レベルが続いており、注意が必要です。[警報レベル:岩国(3週目)、周南(15週目)、山口(3週目)、萩(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	36週	37週	38週	疾患名	36週	37週	38週
インフルエンザ	48	38	41	ヘルパンギーナ	76	57	41
RSウイルス感染症	209	234	209	流行性耳下腺炎	3	3	1
咽頭結膜熱	15	10	11	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	53	66	流行性角結膜炎	2	8	9
感染性胃腸炎	139	149	120	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	1	7	4	細菌性髄膜炎	0	0	1
手足口病	168	190	111	マイコプラズマ肺炎	3	2	4
伝染性紅斑	31	21	12	無菌性髄膜炎	0	0	0
突発性発しん	23	27	21	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	12	0	0	2	0	6	8	0	13	41
RSウイルス感染症	39	15	6	30	13	15	58	8	25	209
咽頭結膜熱	1	4	0	0	5	0	1	0	0	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	3	2	7	0	6	27	1	4	66
感染性胃腸炎	11	11	0	56	7	18	3	0	14	120
水痘	0	2	0	1	0	1	0	0	0	4
手足口病	15	16	5	21	3	35	5	0	11	111
伝染性紅斑	1	0	0	5	3	1	2	0	0	12
突発性発しん	5	0	1	3	1	4	5	0	2	21
ヘルパンギーナ	15	0	0	9	2	3	9	2	1	41
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	1	4	0	0	3	0	0	0	9
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	2	0	0	0	0	2	0	0	4
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 病原体検出情報

- ・インフルエンザ:インフルエンザウイルスA/H1pdm09亜型(検体採取週37、38週)が検出されました。
- ・重症熱性血小板減少症候群(SFTS):SFTSウイルス(検体採取週37週)が検出されました。